



日本プライマリ・ケア連合学会
関東甲信越ブロック支部 活動報告

発行人
関東甲信越ブロック支部長
西村 真紀

ニュースレター No. 11 (2015. 9)

1. 議員総会の報告

支部長 西村真紀

平成 27 年 6 月 14 日、つくばサイエンスインフォメーションセンターにて平成 27 年度第 1 回関東甲信越ブロック議員総会が開催されました。おもな内容は以下のとおりです。議事録と最新の規約は学会ホームページにあります

http://www.primary-care.or.jp/shibu/shibu_kaku.html

* 日本地図の関東甲信越をクリックし、「関東甲信越ブロック支部」よりお入りください

1. 平成 26 年度事業報告：平成 26 年度地方会、ブロック支部直接補助活動（第 8 回新潟プライマリ・ケア研究会、第 27 回いばらき医療福祉研究集会、第 8 回茨城歯科医療フォーラム、関東家庭医療ネットワーク）
2. 平成 26 年度決算報告
3. 規約改定と細則の制定
 - ①議員総会の議長について、議長は「支部長がこれにあたる」から「議員総会で選出する」となった。
 - ②ブロック支部長の決め方について、「構成地域内の日本プライマリ・ケア連合学会理事のうち地域ブロック理事選挙で最多得票であった理事とする」から「支部長は、構成地域内の日本プライマリ・ケア連合学会の理事の中から理事の互選により選任する。ただし改定された規約は平成 28 年度第一回議員総会開催日より運用する。」となった。
 - ③都県連絡委員会細則が制定された。
4. 平成 27 年度ブロック直接補助事業の採択：第 28 回いばらき医療福祉研究集会・「関東家庭医療ネットワーク」
5. 平成 27 年度予算の議決
6. 平成 28 年度地方会：群馬県に決定

【次回議員総会】

2015 年 11 月 29 日(日) 新潟での地方会の昼に会場内で開かれます。代議員、理事、監事の先生方は出席お願いいたします。昼食をご用意いたします。

2. 第 4 回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部大会のお知らせ

新潟県支部では平成 27 年 11 月 29 日(日)に新潟大学内「新潟医療人育成センター」を会場に第 4 回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部大会を開催いたします。現在、鋭意準備を進めているところです。

関東甲信越ブロック支部の会員の先生方には既にハガキで案内をお送りしておりますが、当日は教育講演、ワークショップ、ミニシンポジウム、そして本ブロック支部大会では初めてとなるポスターセッションなども企画しております。奮ってご参加下さい。またワークショップへのお申し込みは日本プライマリ・ケア連合学会のHPの地方会のページ：

(http://www.primary-care.or.jp/shibu/shibu_local.html)の本大会のWebページよりお願いいたします。詳細はそちらをご覧くださいませければ幸いです。お申し込みは早めにもお願いいたします。定員になり次第締め切らせて頂きます。また本支部大会では新潟県内では初めての開催となる指導医講習会も学会本部のご協力の下、同時開催いたしますので、こちらの方にも奮ってご参加下さい。

なお会場の詳細、プログラムなど最新の情報については上記Webにて確認できますので合わせてご確認くださいませければ幸いです。

[お問い合わせ先]

新潟大学医歯学総合病院医科総合診療部
〒951-8520 新潟市中央区旭町通一番町 754 番地
TEL : 025-227-0895 FAX : 025-227-0886
jpca2015@shinsen.biz

3. 都県支部からの報告

【茨城県支部活動報告】

6月13日～14日につくば市で開催された第6回プライマリ・ケア連合学会学術大会は、皆様の御参加、御支援のおかげで、参加者数も内容的にも大きく評価されました。その中で、われわれ茨城支部が企画した、シンポジウム「多職種連携・協働の視点と実践—茨城の取り組み」では県内、県外の会場一杯の参加をいただき、茨城でのユニークで創造的な実践例を提示して、今後の各地での地域包括ケアシステム推進と多職種連携・多職種研修についてディスカッションすることができました。

○第28回いばらき医療福祉研究集会について

日時：平成27年10月25日（日） 会場：つくば国際大学

テーマ：「より良く食べるはより良く生きる ～『食べたい』を支える多職種連携～」

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部他15団体で実行委員会を構成、主催は一般社団法人茨城県保険医協会

企画：一般演題40題、コモンディジェーズ研究会、ランチョンセミナー、摂食嚥下講演会～口腔リハビリテーション多摩クリニック院長、日本歯科大学教授 菊谷 武先生

メイン企画：多職種連携研修会 『食べたい』を支える多職種連携

医師、歯科医師、OT、ST、摂食嚥下認定看護師、管理栄養士、

居宅系ケアマネ、施設系ケアマネが登場して発言し、フロアーを含め討議して、高齢者が安心して食べられるよう、連携して地域で支える手立てを考える、

【神奈川支部活動報告】

日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部は地域医療に関わる多職種が参加し、学術集会やシンポジウムの開催と共に若手が中心となった講演会や症例検討会の支援活動を行っています。

現在の会員数は医師119名、歯科医師9名、薬剤師4名、保健師2名、看護師9名、理学療法士、

栄養士各1名、MSW7名、医療事務2名の計154名です。

関東甲信越ブロック支部の県支部としまして、日本プライマリ・ケア連合学会会員と地域多職種が一緒になって地域医療活動の支援や様々な勉強会を企画していきたいと思っております。

神奈川県に所属されますブロック支部会員各位におかれましては、神奈川支部に是非ご入会いただき、支部活動にご参画頂けますようお願い申し上げます。

[神奈川支部入会のお問い合わせ先]

神奈川支部事務局： 神奈川県医師会内 e-ito@kanagawa.med.or.jp

日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部

会長 松田 隆秀 (聖マリアンナ医大 総合診療内科)

【埼玉支部活動報告】

『埼玉支部での11月定例会に向けての活動状況』

今年後半の埼玉県支部の活動状況をお知らせします。

今年3月、6月の2度の世話人会において、今年からの県支部新体制に呼応した定款変更を検討し、新たな事務局を埼玉医科大学 地域医学・医療センターにおくことなどを確認しています。同大学の 大野洋一先生に事務局担当をお願いしており、今年第一の仕事として埼玉プライマリ・ケア連合研究会の勉強会についての連絡方法を改訂して、従来は郵送で行なっていた総会開催のお知らせなどをメール、ファックスで行なえるよう準備中です。連絡の負荷を軽減し、多くの県内のプライマリ・ケア連合学会員に研究会の連絡が届くように考えており、県内学会員のネットワーク改善が期待されます。

今年も11月19日(木)19時より、さいたま市大宮区のソニックシティで第9回の埼玉プライマリ・ケア連合研究会を開催します。例年は国際会議場で行なっていましたが、今回は906号会議室で行ないますので、会場をお間違えないようお願いいたします。

メインの教育講演を伊関友伸(いせきともとし)先生(城西大学経営学部マネジメント総合学科教授)をお願いしており「埼玉県で望まれる(実のある)地域包括ケアの形」に関わる現状分析と、埼玉県域における医療・介護体制の構築についてご講演いただきます。

また、前半では3~4題の一般講演が予定されており、多職種による地域医療活動に関わる報告が発表されます。昨年同様、多くの方々に参加いただき、意義あるディスカッションが交わされることを期待しています。10月の中旬までにプログラムを確定して連絡いたしますので、よろしくようお願いいたします。

埼玉プライマリ・ケア連合研究会支部

代表世話人 中根晴幸 (さいたま市緑区 ハーモニッククリニック院長)

関東甲信越ブロックでは、ニュースレターにてブロック会員の皆様の活動報告なども掲載する予定です。掲載希望の方は以下メールアドレスまでご連絡いただければと思います。

日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック支部 事務局

kanto_koshinetsu@primary-care.or.jp
